

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム アミーコ大福
日付	平成17年3月15日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	居宅介護支援事業所での痴呆性高齢者介護歴 4年 老人保健施設での相談援助業務歴 5年
<input type="button" value="自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)"/>	
<input type="button" value="評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)"/>	
<input type="button" value="事業者のコメントを見る(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります!)"/>	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> 経営母体が全国展開をしている事業体であり、グループホームの意義、役割を地域に向けて広報しています。会社の経営理念が根幹にあり徹底した運営管理がされています。 アミーコ事業体で各種のマニュアルも整備しており、研修により職員の資質の向上が図られています。また、3つのユニットを有していることで入居者の心身機能状態に応じた段階的な対応を行っていきながらケアを行う姿勢が感じられました。 関連医療機関の連携により医療体制も整っており、終身介護に向けての対応も進められています。また、3つのユニットを有していることで入居者の心身機能状態に応じた段階的な対応を行っています。 アミーコ事業体で「わくわく家族ツアー」を企画運営しており、日帰りや宿泊旅行など、家族や友人と一緒に旅行ができるなど、入居者とその家族にとって独自性のあるサービスが提供されています。 職員が床の張り替えをするなどの工夫をされており、住環境づくりに努めています。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットごとに入居は玄関でありながら玄関のイメージに乏しく、施設と相俟って施設感を非常に感じます。屋外の有効活用やユニット間の入居者の交流などを生活の広がりのある環境を提供できると思いますが、まずはユニット毎の施設を見直しははいかがでしょうか。 家庭的な雰囲気を出すための工夫はされていますが、各ユニットごとで雰囲気の違いを感じます。入居者の心身状況が重度化することにより施設感が生じる傾向になるため、より家庭的な雰囲気になるよう工夫する必要があるのではないのでしょうか。 住宅地に位置する事業所であり、近くに保育園があるなど、地域との交流について、今後も働き掛けが必要ではないのでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・全国ネットで展開している事業体であり、会社の経営理念を含め、グループホームの意義や役割をインターネット等の広報媒体を通じて積極的に広めている。 ・4つの理念があり、「人生の価値を高める」、「普通の生活」、「満足を高める」、「入居者の喜びは職員の喜び」を理念として生活の実現を進めています。 ・終身介護は、本人及び家族の希望があれば対応しています。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か ・個々に使い慣れた家具や馴染みのものを持ち込むことで、その人らしい生活の場を大切にしている。 ・ホームで犬や猫を飼い、和やかで家庭的な雰囲気と精神的な癒し効果を実現しようとしています。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か ・アミーコ事業体の研修により、職員の接遇、マナーが全職員に徹底されており、訪室する際には必ずノックし、排泄の支援も個人を尊重した姿勢など、人材育成やホームに適した人材確保に努めている。 ・入居者一人ひとりの希望を可能な限りかなえるように努力しており、経験や能力を把握して、ホームでの生活の中でも生かされるよう導いている。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 アミーコ事業体で管理されたサービスが進められており、問題に対しては事業体で解決方法など、組織的に対応策を進めています。また、ホームは事故報告記録や、職員全員で対策を話し合うなど、再発防止に努めています。		